

様式 1

県立那珂高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

出口（進路実現）に責任を持つ	①進路希望を確実に達成 ②特別活動の振興 ③国際交流の推進
----------------	-------------------------------------

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの進路実現における探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技術を身につけるとともに、主体性を持って学校生活を送ろうとする。 ・進路実現に向けての問いを見だし、調査や体験で得た情報を基に分析し、表現することができる。 ・自らの進路に向けての探究活動に主体的に取り組むとともに、多様な考えを受け入れ、これから社会に関わり参画する自覚を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに授業担当者会議で学習活動の評価の観点や指導上の課題を共有する。 ・プレゼンテーションやポスター発表などの表現による評価 ・振り返りノートによる評価 ・論理的思考や考察力を見る記述式テストの結果を評価 ・評価カードによる生徒の自己評価や相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じたきめ細やかな指導 ・スクールカウンセラーの活用 ・別室の準備 ・教員間の報告、連絡、相談の徹底 ・環境整備

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を中心に基礎力を育成する。 ・語彙の運用や聞く力、読む力、論理的に考える力を習得する。 ・探究に用いるツールとして、個人端末を用いたICTの活用方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、企業見学会の実施 ・大原によるの公務員講習会の実施 ・那珂市役所や市民協働課との連携 ・公務員業務説明会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考を育成するための基礎学力、国際理解に励む生徒 ・文化的背景の多様性を受け入れつつ、様々な人が支え合い、協力しあう事を理解できる生徒 ・必要な情報を収集し、類別して貯蓄することができる生徒 ・自己を見つめ、自分の個性や特徴を向き合おうとする生徒
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題を中心に探究活動を進める。 ・ワークシート等を用いて課題の背景、知識を習得する。 ・グループ活動する生徒の主体的な探究活動を、教員が巡回しつつ指導、助言に当たることとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みのインターンシップや医療体験会の実施 ・大原の公務員講習の実施 ・那珂市役所や市民協働課との連携 ・公務員業務説明会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な社会問題状況の中から適切に課題を設定できる生徒 ・目的に応じて手段を選択し情報を収集し、視点を定めて多様な情報を表現することができる生徒 ・学習したことを論理的に表現できる生徒 ・探究を通じて自己の在り方生き方を考えながら、将来社会の理想を実現しようとする生徒
3年	<p>「生活・社会」「環境」「国際問題・異文化理解」「日本語・日本人」「教育」「福祉」「政治・経済」「情報・メディア」「科学技術」「医療・看護」以上 10 分野から、各自が興味を持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークによる就職ガイダンスの実施。 ・県内私立大学教員による入試説明会の実施。 ・大原の公務員講習の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の興味、関心によって調べたいテーマを選び、本やインターネットを使って調べ学習や考察を行い、レポートを作成することができる生徒 ・情報収集能力や社会についての考察ができる生徒 ・他者に理解してもらうため工夫してプレゼンテーションを行

様式 1

	<p>ち、調べたいテーマを選び、本やインターネットを使って調べ学習や考察を行い、レポートを作成し、全員がグループ発表する。その後選抜されたグループ代表によるクラス内発表を行い、更にクラス代表による学年発表を行う。その際、教員は生徒の発表について適宜指導・助言・評価を行う。</p>	<p>・那珂市役所や市民協働課との連携 ・公務員業務説明会の実施。</p>	<p>える生徒 ・他者の発表を聞くことで、自分が気付かなかったことや興味を持たなかったことについても考える機会を得て、更に視野を広げることができる生徒</p>
--	--	---	---